文部科学省大学間連携共同教育推進事業

京都三大学 教養教育共同化

京都三大学教養教育研究・推進機構

Institute of Liberal Arts and Sciences
Kyoto Institute of Technology , Kyoto Prefectural University ,
Kyoto Prefectural University of Medicine

時代が求める新たな教養教育の構築

京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学の京都三大学は、それぞれ100年を超える歴史の中で個性ある学風を培い、京都、日本、そして世界で活躍する人材の育成を行ってきました。

京都三大学では、それぞれの教育理念を基本にしながら、三大学が共同することによって、時代が求める新たな教養教育を構築していくため、平成26年度から全国初となる教養教育共同化をスタートしました。共同化によって三大学の学生交流が促進され、下鴨・北山地域における新しい学生のライフスタイル、大学像が構築されることを期待しています。

京都三大学
教養教育共同化について

共同化の趣旨

変化の激しい今日にあって、時代が求める新たな教養教育を構築していくため、次の３点をねらいとして取り組みます。

1　三大学は個々には規模が小さく、各大学で提供できる科目には限りがあるため、各大学の強みと特徴を生かした科目を提供しあい、学生の科目選択の幅を広げ、学修意欲を一層高めること。

2　文系、理工系、医学系の専門分野や将来の志望の異なる三大学の学生が授業で混在し、多様な視点や価値観を交流して、一緒に学ぶ学修空間を創り出すこと。

3　学生間の交流や討論、共同学修が進むよう学生参画型の授業を広げていくこと。

教育の目標

グローバル化や少子高齢化の進展など課題が山積する中で、多様な事象に関心を持ち、総合的に物事を観察し、的確に判断できる能力と豊かな人間性を持つ人材の育成を目指して次の３点から取組を進めます。

A　人文・社会・自然諸分野の学術体系を俯瞰しながらこれらの基礎を幅広く学習し、学術への高い関心を育てること。

B　世界の人々の多様な生き方を感受し、人としての豊かな感性や倫理観を拡張すること。

C　日々社会に生起する種々の問題において、真理や正義を探求する議論に習熟すること。

取組内容

1　京都三大学のリベラルアーツ系科目の共同開講

共同化３年目の平成28年度は、共同化科目として、講義方式65科目（人文系23科目、社会系21科目、自然系21科目）、リベラルアーツ・ゼミナール９科目（人文系２科目、社会系６科目、自然系１科目）の計74科目を開講します。

これらは三大学いずれの学生も自大学の授業として履修でき、科目選択の幅が大きく広がり、諸分野をバランス良く履修することができます。また、大学間の移動などを考慮し、学生がより受講しやすいよう、月曜午後に集中して共同化科目を提供しています。

2　京都学科目の開講

講義系65科目のうち12科目は、京都という地の地域的、歴史的、文化的特色を活かした「京都学」の授業を行います。三大学にまたがる学問分野の広さと、各大学の専門性の強みを生かした多様な京都学を開講します。

3　リベラルアーツ・ゼミナールの開講

学生同士が交流し、共通のテーマで対話し議論する力を育むことをねらいとした少人数のゼミナール科目です。考え方や学び方の基礎力を培うゼミナールやグローバルな視野を広げるゼミナールなど９科目を開講します。

4　単位互換科目の開講

三大学では、教養教育に関する幅広い科目が履修できるよう平成19年度から３大学連携教養教育単位互換制度を実施しています。共同化科目と併せてより一層学生の豊かな学びが育めるよう、平成28年度は37科目（京都工芸繊維大学９科目、京都府立大学25科目、京都府立医科大学３科目）を月～土にわたって各提供大学で開講します。

5　取組の展開

学修状況や授業の成果、学生からの要望等を踏まえつつ、科目の拡大等共同化の更なる展開に向けて検討を進めます。また、講演会やシンポジウム等を開催することによって学外に向けて取組状況をお知らせするとともに、生涯学習の機会としても提供していきます。

教養教育共同化のカリキュラム（平成28年度）

各科目が、A.「幅広く学習し、学術への高い関心を育てる」、B.「多様な生き方を感受し豊かな感性や倫理観を拡張する」、C.「真理や正義を探求する議論に習熟する」のどの性格を持つかを示し、科目選択の参考になるようにしています。

科目群		科目名	開講期	授業目的区分 A	B	C
人間と文化（25科目）	人間と歴史	哲学	後	○	○	
		比較宗教学	前	○	○	
		宗教と文化	後	○	○	
		日本史	前	○		
		東西文化交流史	後	○	○	○
		アジアの歴史と文化	前	○	○	
		ヨーロッパの歴史と文化	後	◎	○	
		科学と思想	後	○		◎
	文化・芸術	ラテン語	後	○	○	
		西洋文化論	後	○		○
		日本文学Ⅰ	前	○		
		日本文学Ⅱ	後	○		
		日本近現代文学	前	○	○	
		西洋文学論	前		○	
		文芸創作論	後		○	
		美と芸術	前	○	○	
		日本近代精神史	前	○	○	
	京都学	京都の歴史Ⅰ	前	○	○	
		京都の歴史Ⅱ	後	○	○	
		京都の文学Ⅰ	前	○	○	
		京都の文学Ⅱ	後	○	○	
		京の意匠	後	○	○	○
		英語で京都（※３回生以上）	後		◎	○
	リベラルアーツ・ゼミナール	リベラルアーツ・ゼミナールⅥ（現代イスラーム世界の文化と社会）	集中･夏		◎	○
		リベラルアーツ・ゼミナールⅧ（感性の実践哲学）	集中･夏		○	○
人間と社会（27科目）	社会科学の基礎	人文地理学Ⅰ	前	○	○	
		人文地理学Ⅱ	後	○	○	
		社会学Ⅰ	前	○	○	○
		社会学Ⅱ	後	○	○	○
		政治学	後	○		○
		国際政治	後	◎	○	○
		経済学入門	後	○		
	人間と社会	現代の政治	前	◎		○
		生活と経済	後	○		○
		心理学	前	◎		
		発達心理学	集中･夏	○	○	
		現代社会と心	後	○		○
		現代社会とジェンダー	前		◎	○
		人権教育	後	○		○
		現代教育論	前		○	○
		食環境をめぐる国際社会と日本	前			○
		環境と法	後	◎	○	○
	京都学	京都学事始―近代京都と三大学―	前			○
		京の産業技術史	後		○	
		現代京都論	前		○	
		医史学	前	◎	○	
	リベラルアーツ・ゼミナール	リベラルアーツ・ゼミナールⅠ（感覚で探る問題解決の方法）	前･後		○	○
		リベラルアーツ・ゼミナールⅡ（現代社会に学ぶ問う力・書く力）	前		○	◎
		リベラルアーツ・ゼミナールⅢ（社会科学の学び方）	後		◎	○
		リベラルアーツ・ゼミナールⅣ（現代社会と映画製作）	集中･夏		◎	○
		リベラルアーツ・ゼミナールⅤ（アメリカと中国はいま）	集中･冬		○	○
		リベラルアーツ・ゼミナールⅨ（経営哲学）（※２回生以上）	後	◎		○
人間と自然（22科目）	自然科学の基礎	物理学Ⅰ	前	○		
		化学概論Ⅰ	前	○		
		化学概論Ⅱ	後	○		
		生物学概論Ⅰ	前	○		
		生物学概論Ⅱ	後	○		
		生命科学講話	集中･夏	○	○	
		地球の科学	後	○		○
	人間と自然・科学	人と自然と数学α	前	○	○	○
		人と自然と数学β	後	○		○
		人と自然と物理学	後	○		○
		生物学的人間学	前	○		
		意外と知らない植物の世界	後	○	○	○
		科学史	後	○	○	
		環境問題と持続可能な社会	前	○		○
		食と健康の科学	前	◎		○
		キャンパスヘルス概論	前	○	○	○
		時間生物学特論（※３回生以上（修士課程大学院生を含む。））	集中･夏	○		○
		エネルギー科学	前	◎		○
		現代科学と倫理	後			○
	京都学	京都の自然と森林	前	○		
		京都の農林業	後	○		
	リベラルアーツ・ゼミナール	リベラルアーツ・ゼミナールⅧ（製品の機能から科学を学ぶ）	後	○		○
合計74科目						
（再掲） リベラルアーツ・ゼミナール（９科目）		リベラルアーツ・ゼミナールⅠ（感覚で探る問題解決の方法）	前･後		○	○
		リベラルアーツ・ゼミナールⅡ（現代社会に学ぶ問う力・書く力）	前		○	◎
		リベラルアーツ・ゼミナールⅢ（社会科学の学び方）	後		◎	○
		リベラルアーツ・ゼミナールⅧ（製品の機能から科学を学ぶ）	後	○		○
		リベラルアーツ・ゼミナールⅨ（経営哲学）（※２回生以上）	後	◎		○
	集中開講	リベラルアーツ・ゼミナールⅣ（現代社会と映画製作）	集中･夏		◎	○
		リベラルアーツ・ゼミナールⅤ（アメリカと中国はいま）	集中･冬		○	○
		リベラルアーツ・ゼミナールⅥ（現代イスラーム世界の文化と社会）	集中･夏		◎	○
		リベラルアーツ・ゼミナールⅧ（感性の実践哲学）	集中･夏		○	○
（再掲） 京都学（12科目）		京都の歴史Ⅰ	前	○	○	
		京都の歴史Ⅱ	後	○	○	
		京都の文学Ⅰ	前	○	○	
		京都の文学Ⅱ	後	○	○	
		京の意匠	後	○	○	○
		京都学事始 ―近代京都と三大学―	前			○
		京の産業技術史	後		○	
		現代京都論	前		○	
		医史学	前	◎	○	
		京都の自然と森林	前	○		
		京都の農林業	後	○		
		英語で京都（※３回生以上）	後		◎	○
（再掲） ２回生以上向け開講（３科目）		英語で京都（※３回生以上）	後		◎	○
		リベラルアーツ・ゼミナールⅨ（経営哲学）（※２回生以上）	後	◎		○
		時間生物学特論（※３回生以上（修士課程大学院生を含む。））	集中･夏	○		○

※授業目的区分欄の「○」は該当するもの、「◎」は特に強調するもの

京都三大学の紹介

京都工芸繊維大学

KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

京都工芸繊維大学学長
古山　正雄

京都工芸繊維大学は、明治時代の工業化や伝統産業の近代化に対応するために設立された京都高等工芸学校および京都蚕業講習所に端を発します。時代の進展とともに110余年にわたり発展を遂げながら、伝統文化の源である古都の風土の中で、「知と美と技」を探求する独自の学風を築き上げてきました。この栄光ある歴史に新たな一頁を加えるべく、豊かな人間性にもとづく技術の創造をめざして技を極め、人間の知性と感性の共鳴を求めて知と美の融合をめざし、教育研究の成果を世界に発信しています。

本学の特色としては、ものづくりを基盤とした「人に優しい実学」を目指した個性ある教育研究を行っているところです。

京都府立大学

KPU

京都府立大学学長
築山　崇

京都府立大学は、1895（明治28年）年に創立された京都府 簡易農学校に源を発し、昨年、開学120周年を迎えました。人文・社会・自然の諸分野にまたがる３学 部・大学院３研究科を備えた総合大学であり、京都 府における知の拠点として、小規模の利点を生かした密度の高い教育、高度かつ地域社会と密接に 連携した研究、府内各地域の様々な課題に応える 地域貢献活動や公開講座などを積極的に展開して います。

平成26年 度からは、全国初となる京都府立医科大学、京都 工芸繊維大学との教養教育共同化がスタートし、同 年９月には新たな文化・学術・環境を発信する「 北山文化環境ゾーン」の一角に教養教育共同化施 設（稲盛記念会館）が整備されました。この施 設で三大学の学生が一堂に会して学ぶとともに、府民の皆様等との多様な交流が一層促進されています。

京都府立医科大学

KPUM

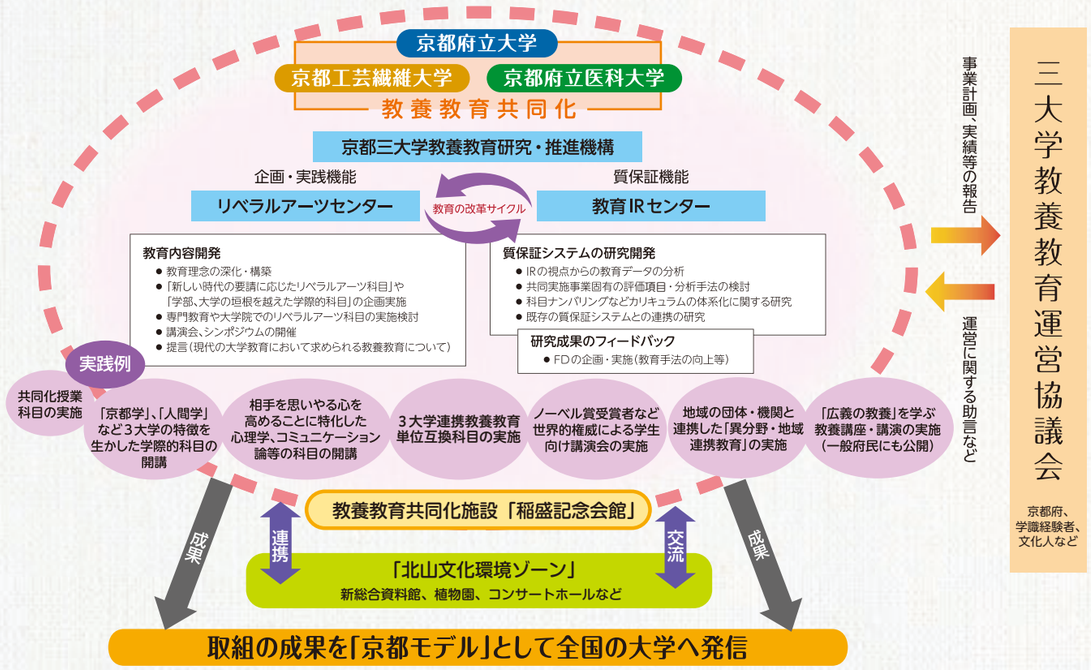
京都府立医科大学学長
吉川　敏一

京都府立医科大学は、医学部に医学科と看護学科の一学部二学科を有する公立医科大学で、1872（明治５）年に設立されて以来、140年を越える歴史を誇る我が国でも最も古い医科大学の一つです。

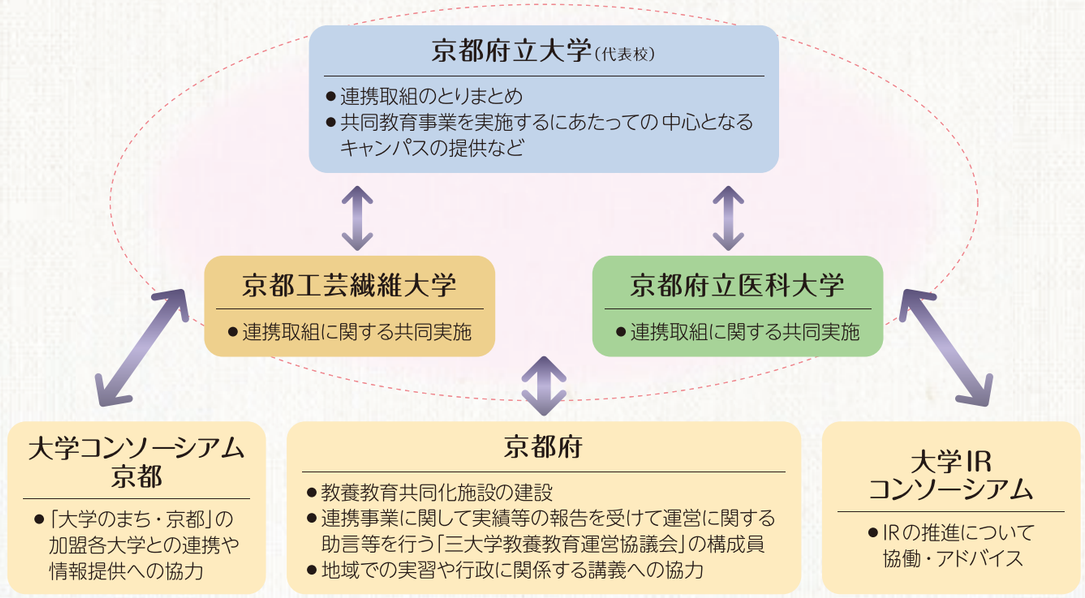
本学ではこのような歴史と実績により蓄積された医学や医療技術を背景に、高い倫理観を持ち、患者の立場に立って考える優れた医療人の養成や多様な学際的研究活動を推進し、世界トップレベルの医療人材や次代を担う指導的人材を育成しています。

また、京都府民に開かれた大学として、地域医療への理解と関心、使命感を持った医学研究者や医療人を育成するとともに、最先端の研究や診療機器の整備を行うことにより世界トップレベルの医療を地域に提供し、府民等の健康増進に寄与しています。

京都三大学教養教育共同化による「新しい時代の要請に応じた教養教育」の実践



京都三大学教養教育研究・推進機構の構成について



教養教育共同化施設「稲盛記念会館」

1 設置趣旨

この教養教育共同化施設「稲盛記念会館」は、その名のとおり教養教育共同化の中心となる施設です。共同化の取組を支援する京都府において、新たな文化・学術・環境を発信する「北山文化環境ゾーン」整備のメイン施設の一つとして、平成24年10月に建設着工され、平成26年夏に完成。平成26年度の後期授業から使用しています。

この施設を拠点として、三大学の学生が一堂に会して学び、教職員や府民の皆さまとの多様な交流が広がることが期待されています。

この施設の建設につきましては、その趣旨に御賛同いただきました京セラ株式会社名誉会長 稲盛和夫様から、京セラ株式会社の創業の地である京都府に対して多額の御寄附をいただきました。

2 建物の概要

■ 所　在　地　京都市左京区下鴨半木町１番５
■ 総 工 事 費　約 28 億円
■ 工 事 期 間　平成 24 ～ 26 年度
■ 構造・規模　鉄筋コンクリート造り　陸屋根　地下１階 地上３階建て　　延床面積　9,088.73㎡

■ 主な整備内容

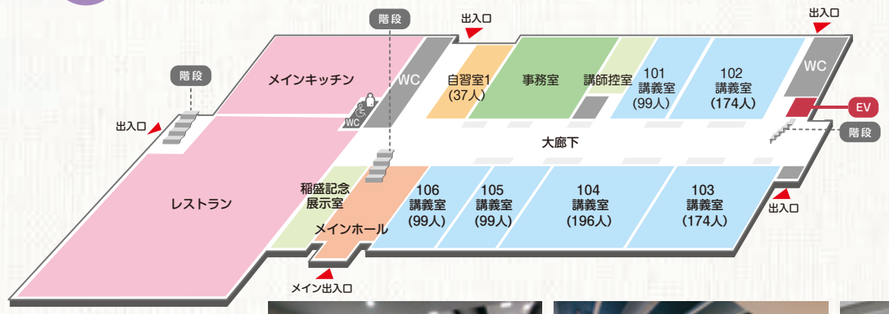
○ 三大学学生が一緒に学ぶ豊かな学修空間の創出
- 豊富な教養教育が提供できる講義施設の整備
  マスプロ教育を避けるため 200 人規模を最大に 17 教室を整備（同時に最大 1700 人程度収容可）
- 京都府立医科大学教養教育施設（花園学舎）の移転（研究室、実習室など）
- 多様な学修環境の充実
  視聴覚室（100 人程度）、コンピューター室（80 人程度）、研究ゼミ室（各 10 人程度：３室）
- 自学自修環境の充実
  自習室（60 人、30 人：２室）

○ 府民等との交流スペースの整備
- 三大学の学生・教員間の交流の場であり、かつ、府民の皆さまが気軽に利用できるレストラン
- 稲盛記念展示室

○ 京都議定書の街にふさわしい環境に配慮した建物、ゆとりある空間
- エコボイド（吹き抜け空間を各階の自然換気、自然採光に利用）
- 雨水・井水の雑用水利用
- 太陽光パネル設置
- ゆとりある廊下
- 大型ガラス窓による植物園の緑や自然採光を活かしたリフレッシュ空間の創出

■ 建物ゾーニング

1階 府民利用・学生交流フロア



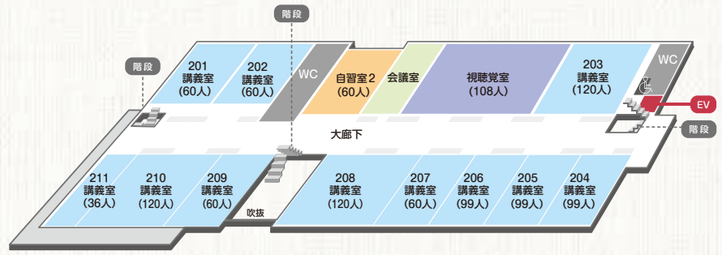
- 講義室６室
  - １９６人：１室
  - １７４人：２室
  - ９９人：３室
- 自習室（３７人）
- 稲盛記念展示室
- レストラン
- 事務室

稲盛記念展示室

レストラン

104 講義室（196人）

2階 学生講義室フロア



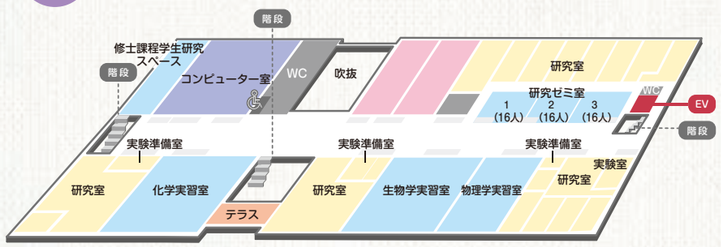
自習室２

207 講義室（60 人）

視聴覚室

- 講義室１１室
  - １２０人：３室
  - ９９人：３室
  - ６０人：４室
  - ３６人：１室
- 自習室（６０人）
- 視聴覚室

3階 研究等フロア



- 京都府立医科大学
  - 研究室
  - 化学実習室
  - 生物学実習室
  - 物理学実習室
  - 実験準備室
  - コンピューター室
- 研究ゼミ室
  （１６人：３室）

コンピューター室

研究ゼミ室１

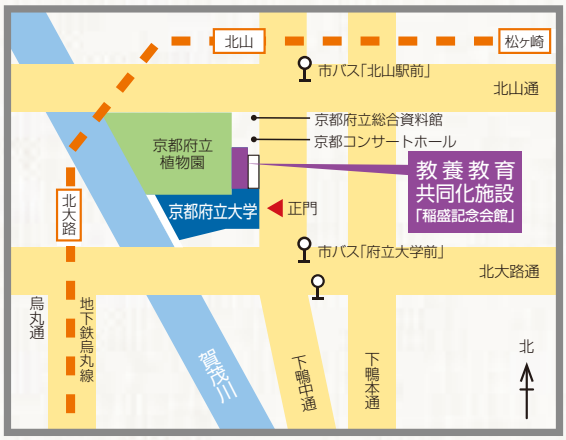
生物学実習室

■「北山文化環境ゾーン」未来図

「北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告より」

■「北山文化環境ゾーン」と三大学の位置図

Google maps より



●JR京都駅、阪急烏丸駅から
地下鉄烏丸線「北山駅」下車
1番出口から　南へ　徒歩7分

●京阪出町柳駅から
市バス１「府立大学前」下車
北へ徒歩５分

●JR二条駅から
市バス206「府立大学前」下車
北へ徒歩５分

京都三大学
教養教育研究・推進機構
Institute of Liberal Arts and Sciences

所在地：〒606-0823　京都市左京区下鴨半木町１番５
教養教育共同化施設「稲盛記念会館」内

ＴＥＬ：075-703-4925　ＦＡＸ：075-703-4979
E-mail：kyouyou@kpu.ac.jp　ＵＲＬ：http://kyoto3univ.jp/